

(仮称)野洲市立病院整備基本 計画について

2015年3月7日

野洲市

これまでの流れ

○平成昭和60～62年

野洲病院（民間病院）の経営支援に旧野洲町が9億円支援。元金5億円超未償還。

○平成10年・11年

野洲病院の施設整備の銀行借入れ21億円で旧町が損失補償。中枢部分未耐震

○平成23年4月

野洲病院が市に『新病院基本構想2010』を提案

〈市が土地建物と高額医療機器を新たに調達し、野洲病院に貸付〉

○平成23年5月/10月

地域医療における中核的医療機関のあり方の検討 「⇒ 構想は不可・病院必要」

○平成24年1月/7月

市が責任を持つ新病院整備可能性の検討 「機能・医師等・収支⇒ 可能性あり」

野洲駅南口周辺整備構想検討開始(7月～)

○平成25年8月

『野洲市中核的医療拠点のあり方に関する基本方針』策定

○平成25年9月

病院整備に必要な基本構想策定予算可決

○平成26年3月

(仮称)野洲市立病院整備基本構想策定

○平成26年4月～

(仮称)野洲市立病院整備基本計画策定作業

基本計画について

●基本計画の主な項目

I 全体計画

- ・名称、立地
- ・基本理念・基本方針
- ・市立病院の病院像（医療機能、運営等） など

II 部門別基本計画

- ・外来、病棟、薬剤等の各部門別の基本方針・運営計画・施設計画 など

III 医療情報システム・物流管理システム・医療機器・業務委託の考え方

- ・基本的な考え方や導入機器・範囲の想定 など

IV 建設計画

- ・延床面積、構造計画 など

V 事業収支計画

- ・事業費、収支計画 など

VI スケジュール

基本理念

全体計画

信頼ある医療の提供を通じて、市民の健康を守り、福祉を増進し、暮らしの安心につなげ、市民とともに持続ある地域医療を育てます。

基本方針

- ・市民の生命・人格を尊重し、安全で上質な医療サービスを提供します。
- ・快適で利便性の高い、市民にとって身近で親しみのある医療機関となるよう努めます。
- ・地域の医療機関や保健・福祉機関との連携を推進し、市民の健康増進を図ります。
- ・職員の意欲・能力向上に努め、やりがいを感じることでできる職場環境を整えます。
- ・経営責任の明確化と経営の透明性を確保し、病院経営の最適化に努めます。

病院像

▼ 名称

野洲市民病院

▼ 担うべき医療機能

- ・在宅医療の後方支援機能
- ・対応可能な5疾病4事業
- ・回復期医療
- ・特化した専門医療

▼ 診療科

- | | | |
|-----------|--------------|--------|
| ○ 内科 | ○ 小児科 | ○ 外科 |
| ○ 整形外科 | ○ 婦人科 | ○ 泌尿器科 |
| ○ 眼科 | ○ リハビリテーション科 | ○ 人工透析 |
| ○ 耳鼻いんこう科 | | |

※基本構想から産科を削除

▼ 病床数

総病床数180床程度

うち、一般病床90(100)床、回復期病床45(40)床、地域包括ケア病床45(40)床

※基本構想(総病床数199床、内訳：一般病床99床、回復期病床50床、医療型療養病床50床)

▼ 運営形態

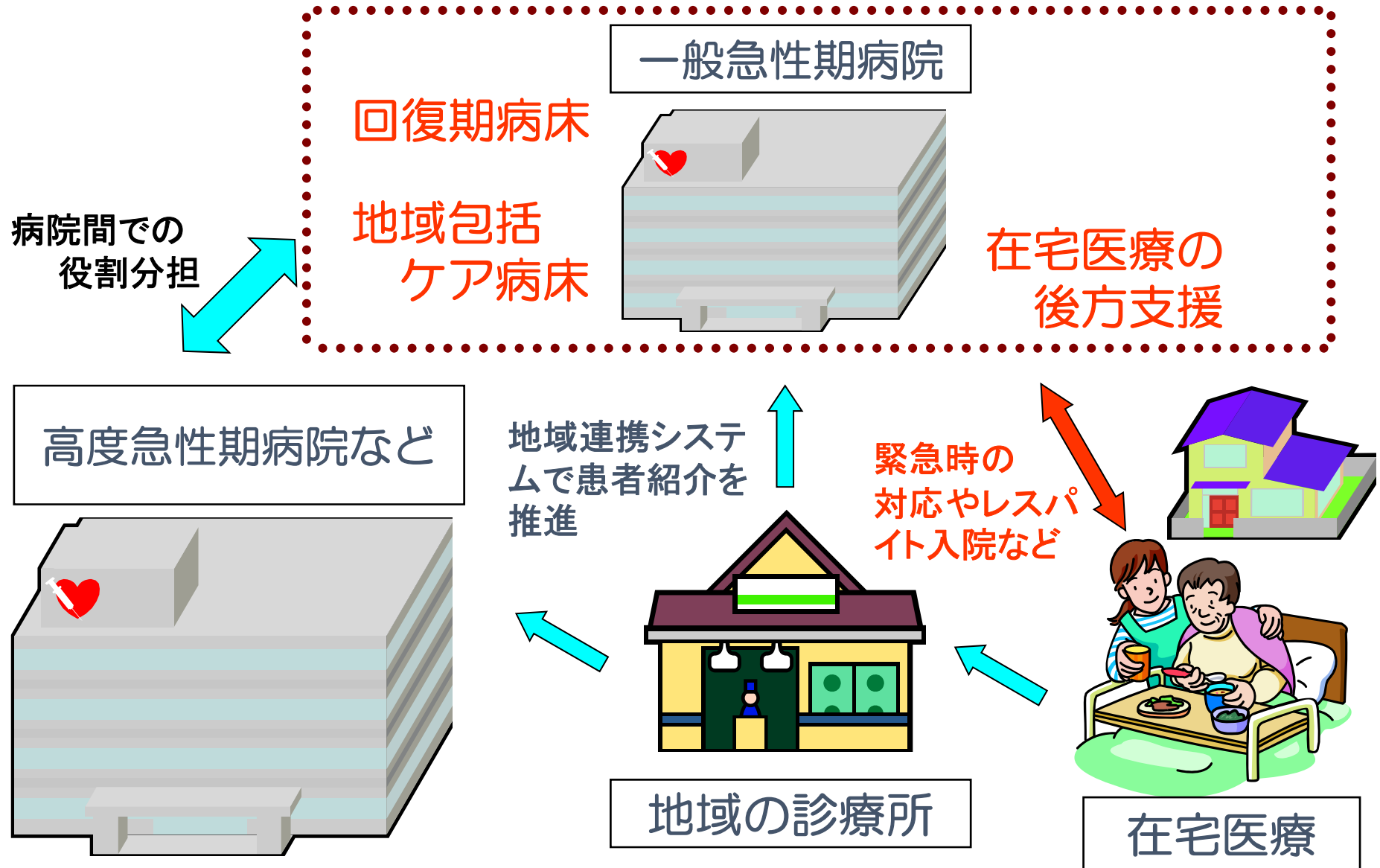
野洲市による直接運営(地方公営企業法の全部適用)

▼ 職員数

医師数：22(25)人 看護師数：119(110)人

その他職員(薬剤師、医療技術職員、事務職員等)：124人

○新病院が担う役割のイメージ(地域包括ケアシステム)



▼ 特色ある機能の整備

◎ 地域包括ケアシステムの中心的役割を实践

- ・保健・医療・福祉連携の強化
- ・疾病予防から外来・入院治療・在宅療養支援・福祉連携に至る切れ目のない医療提供
- ・地域に密着した病院整備

○地域ニーズにあわせた連携機能の整備(総合診療内科機能等)

○特化した専門医療機能の整備(がん化学療法機能等)

○健康管理センターの整備(人間ドック、特定検診等)

○患者サポートセンターの整備(患者情報の一元管理等)

○地域包括支援センターの整備(日常生活支援総合事業を推進)*病院事業とは別制度

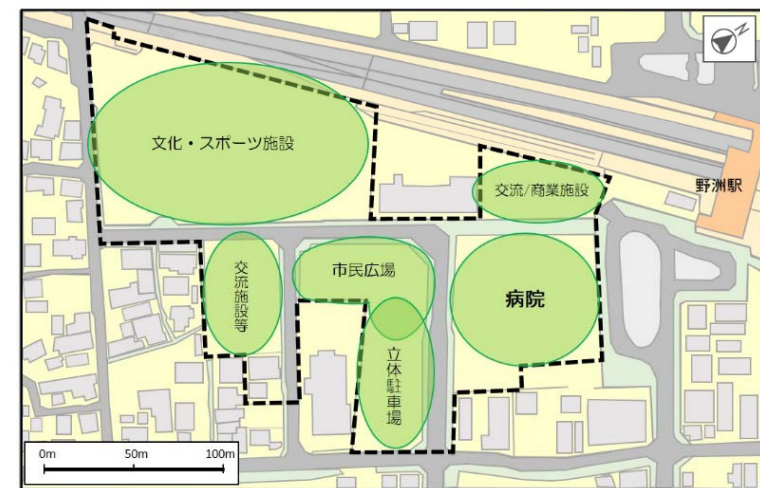
○病院施設等の設定

《病院施設等》

- ①施設延床面積 **13,500㎡** (75㎡/床)
同規模自治体病院を参考
- ②建築単価 **36万円/㎡**
総務省が設定した交付税措置対象単価 36万円以下/㎡
- ③建築面積 (必要敷地面積) **4,400㎡** (5,500㎡程度)
同規模自治体病院を参考 4,000㎡~5,000㎡ (建蔽率80%)
- ④駐車場 **320台** ※うち10台は施設敷地内を想定
患者用…約150台 職員・病院関係者用…約170台
一日外来患者数約290人、職員数約265人を想定
※共用立体駐車場を想定し、
病院事業では整備しない

《医療機器等整備》

- ⑤医療機器 約11.7億円
- ⑥情報システム構築費 約2.8億円
同規模自治体病院を参考



○病院整備費用の第一次想定

病院施設整備等費用 約84億2千万円

【内訳】

①用地取得費	804,300千円	(想定敷地:約5,700㎡)
②基本設計費	67,187千円	(国土交通告示第15号による積算)
③実施設計費	104,000千円	(国土交通告示第15号による積算)
④工事監理費	60,315千円	(国土交通告示第15号による積算)
⑤建設工事費	4,860,000千円	
(本体)	2,916,000千円	(工事費の60%想定)
(設備)	1,944,000千円	(工事費の40%想定)
⑥外構整備費	145,800千円	(建設工事費の3%想定)
⑦医療機器整備費	1,175,900千円	
⑧情報システム構築費	280,500千円	
⑨その他費用(事務費等)	229,200千円	
⑩運営費(開院初年度)	693,303千円	(開院初年度の病院事業費用3ヶ月想定)

○市が直接運営

(単位:百万円)

3条会計【収益的収支】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	10年目	15年目	20年目	
病院事業収益		(a)	2,602	3,156	3,161	3,167	3,179	3,187	3,180	3,165
医業収益		(ア)	2,549	2,935	2,943	2,950	2,965	2,979	2,980	2,974
(内訳)	入院診療収益		1,374	1,764	1,771	1,778	1,790	1,806	1,807	1,801
	外来診療収益		725	723	723	723	725	723	723	723
	その他医業収益	室料差額・健診	258	263	264	264	265	265	265	265
		一般会計繰入金	192	185	185	185	185	185	185	185
医業外収益		(イ)	53	220	218	217	214	208	200	191
(内訳)	国交付金(利息分他)		26	194	194	193	192	189	184	180
	一般会計繰入金		26	26	25	24	23	20	16	11
病院事業費用		(b)	3,308	3,472	3,471	3,470	3,478	3,366	3,355	3,215
医業費用		(エ)	3,202	3,368	3,371	3,375	3,387	3,287	3,292	3,170
(内訳)	給与費		1,861	1,894	1,894	1,895	1,902	1,903	1,903	1,903
	材料費		467	537	539	540	543	545	545	544
	減価償却費		429	429	429	429	429	323	328	208
	その他経費		445	508	509	511	513	515	515	515
医業外費用(企業債利息等)		(オ)	106	103	100	96	92	79	63	45
医業損益		(ア)-(エ)	△ 653	△ 433	△ 429	△ 425	△ 422	△ 308	△ 312	△ 196
減価償却費を除く			△ 224	△ 4	0	4	7	15	16	13
病院事業損益		(a)-(b)	△ 706	△ 316	△ 310	△ 304	△ 299	△ 179	△ 175	△ 49
減価償却前損益			△ 277	113	119	125	130	144	153	159
累積損益(病院開業前経費含む)			△ 734	△ 1,050	△ 1,360	△ 1,664	△ 1,963	△ 2,954	△ 3,920	△ 4,216

(単位:百万円)

4条会計【資本的収支】		4年前	3年前	2年前	1年前	1年目	2年目	10年目	20年目
資本的収入 (c)		124	966	1,934	4,703	693	182	278	307
企業債		0	941	1,909	4,678	0	0	98	98
(内訳)	建設費、機器等	0	941	1,909	4,678	0	0	98	98
	情報システム更新	0	0	0	0	開院後6,11,16年目に更新			
一般会計繰入金		124	25	25	25	693	182	180	209
(内訳)	国交付金(元金分)	0	0	0	0	0	91	90	105
	一般会計繰入金	124	25	25	25	693	91	90	105
資本的支出 (d)		124	966	1,934	4,703	693	363	458	517
建設改良費		124	966	1,934	4,703	693	0	98	98
企業債償還金(元金)		0	0	0	0	0	363	360	419
資本的収支 (c)-(d) (e)		0	0	0	0	0	△ 182	△ 180	△ 209
資金余剰(単年度)		0	0	△ 7	△ 21	△ 274	△ 65	△ 33	△ 48
資金余剰(累積)		0	0	△ 7	△ 28	△ 303	△ 368	△ 588	△ 957
(再掲) 一般会計繰入額		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	10年目	15年目	20年目
3条会計(収益的収支分)		219	211	210	209	208	205	201	196
4条会計(資本的収支分)		693	91	91	99	115	90	100	105
小計		912	301	301	308	323	295	301	301
【参考】交付金見込総額		26	285	284	292	307	278	285	285
総額		938	587	585	599	630	573	585	585

注; 合計額など端数処理の関係で計算が合わないことがあります。
金額はシミュレーションであり、将来約束されたものではありません。

○収支計画のまとめ

◎第一次試算では病院事業会計は事業損益が恒常的に赤字

繰入額(概算)					単位:円
	交付税	一般会計(基準内)	一般会計(基準外)	合計	左の内一般財源 (交付税除く)
基本構想	2億 ~3億1千万 恒常:約2億5千万	2千万 ~1億5千万 恒常:約9千万	—	2億2千万 ~4億6千万 恒常:約3億4千万	2千万 ~1億5千万 恒常:約9千万
基本計画	2千6百万 ~3億1千万 恒常:約2億8千万	2億2千万 ~3億2千万 恒常:約3億	0~2億7千万 恒常:約5千万	5億 ~6億3千万 恒常:約6億3千万	2億6千万 ~4億9千万 恒常:約3億5千万

◎基準内繰入金が最大で構想の1億5千万円から3億2千万円へ増えている。
恒常的に毎年3億程度が必要

◎基準内繰入金を超えて更に基準外繰入金(赤字補填)が最大時2億7千万円
新たに増えている。恒常的に毎年5千万円程度が必要

◎病院事業として算入される交付税額は毎年約2億8千万円程度と見込まれる
が、職員増等による行革関連経費分が縮減される可能性があり、その影響
により約6億3千万を恒常的に一般会計として見込む必要

◎開院1年目の運転資金として約7億円が別に必要

今後の進め方について

○第1階基本計画評価委員会での意見整理

- 第1回評価委員会では、収支不成立を改善する要素として、意見をいただきました。主な論点は以下のとおり。

公立病院としての
整備について

特色ある機能の
整備について

医療スタッフ
の確保について

病床数とその
内訳について

給与費の設定
について

医療機器等
整備について

土曜診療の
実施について

医師数の設定
について

委託業務の効果
的利用について

○新病院整備の課題

現状の課題を以下の2点に整理

1. 新病院に関連する課題

基本計画、収支計画改善の可能性検証

- 収益増加の可能性(利用者数、稼働率、診療内容等)
- 経費削減の可能性(外部委託推進、人件費見直し等)
- その他

2. 市財政に関連する課題

一定見込まれる病院運営の繰入金捻出の可能性検証

- 最大時年間繰入金総額約6億3千万円?の可能性
- 開院に伴う資本金捻出の可能性
- ※開院1年目には運転資金約7億円、赤字補填を合わせて約12億円必要?
- ※昭和60年以降の貸付金残金約5億2千万円が返還?

市立病院を整備しない場合

野洲病院への財政的支援を継続しても・しなくても
現状で運営することは困難 ⇒ 閉鎖

野洲市の中核的医療拠点がなくなる
通院約10万人、入院約5万人、
救急搬送約650人

病院成立の可能性



○基本計画のさらなる検討状況について①

○評価委員会の意見及び市内医療現場からの収支改善の可能性検討を現在も引き続いて実施しています。主な収支設定変更の項目を以下に整理します。

1. 総病床数180床の内訳変更

一般病床90床、回復期病床45床、地域包括ケア病床45床

→一般病床100床、回復期病床40床、地域包括ケア病床40床

2. 職員配置数の変更

医師数:22人 看護師数:119人

その他職員(薬剤師、医療技術職員、事務職員等):124人

→医師数:26人 看護師数:110人

その他職員(薬剤師、医療技術職員、事務職員等):126人

3. 入院収入・外来収入の実績値変更

平成25年度野洲病院実績値

→平成26年度野洲病院実績値

○基本計画のさらなる検討状況について②

4. 経費、薬品費、診療材料費の設定変更
平成24年自治体病院平均値(100床～199床)
→平成25年医療法人黒字病院平均値(100床～199床)
5. 職員の退職手当引当金及び法廷福利費の設定変更
平成24年自治体病院平均値(100床～199床)
→野洲病院等の実績を参考に野洲市積算方法により別途試算
6. 医療機器の購入金額の変更
推定機器を全て新規購入
→現野洲病院からの使用可能機器を鑑定して移設

収支シミュレーション

【収益的収支】			想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	
区分	年度	設定方法	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成
			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度	41年度			
減価償却を除く医業損益(ア)-(イ)-減価償却費	(A')				0	0	0	0	0	363,595	604,496	604,496	604,496	609,744	604,496	604,496	604,496	609,744	604,496	604,496	604,496	604,496	
病院事業損益(a)-(b)	(B)				0	0	0	-7,055	-21,375	-38,360	354,553	337,830	321,204	310,340	247,368	375,999	377,661	385,034	381,759	340,907			
病院事業損益(他会計補助金除く)	(B')				0	0	0	-14,111	-42,750	-89,091	135,895	119,798	103,894	94,268	32,530	161,276	164,598	174,098	172,796	133,931			
減価償却前損益(a)-(b)-減価償却費	(C)				0	0	0	-7,055	-21,375	312,864	723,127	723,754	724,477	730,962	726,948	727,063	728,724	736,097	732,823	734,815			
累積損益(前期B)+(当期B)	(D)				0	0	0	-7,055	-28,430	-66,791	287,763	625,593	946,797	1,257,137	1,504,505	1,880,504	2,258,165	2,643,199	3,024,958	3,365,861			
医業収支比率 (ア)/(イ)×100			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.4%	107.8%	107.2%	106.6%	106.2%	104.0%	108.5%	108.5%	108.6%	108.5%	106.9%			
経常収支比率 ((ア)+(イ))/(イ)+(オ)×100			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	50.0%	50.0%	98.7%	111.4%	110.8%	110.2%	109.8%	107.7%	112.2%	112.2%	112.5%	112.4%	110.9%			

減価償却を除く医業損益(ア)-(イ)-減価償却費	(A')				0	0	0	0	0	-243,139	-10,595	-5,747	-900	9,429	8,796	13,644	15,248	22,367	18,457	20,061
病院事業損益(a)-(b)	(B)				0	0	0	-7,055	-21,375	-644,682	-257,931	-267,539	-277,056	-280,602	-336,754	-201,103	-197,855	-188,627	-190,581	-186,477
病院事業損益(他会計補助金除く)	(B')				0	0	0	-14,111	-42,750	-694,986	-476,162	-485,073	-493,800	-496,069	-550,978	-415,225	-410,332	-398,996	-398,994	-392,911
減価償却前損益(a)-(b)-減価償却費	(C)				0	0	0	-7,055	-21,375	-293,442	108,463	114,008	119,646	131,253	131,862	136,812	140,060	149,288	147,334	150,911
累積損益(前期B)+(当期B)	(D)				0	0	0	-7,055	-28,430	-673,113	-931,043	-1,198,582	-1,475,638	-1,756,240	-2,092,995	-2,294,098	-2,491,953	-2,680,579	-2,871,160	-3,057,631
医業収支比率 (ア)/(イ)×100			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	82.2%	89.1%	88.9%	88.6%	88.6%	87.1%	90.6%	90.6%	90.9%	90.7%	90.8%
経常収支比率 ((ア)+(イ))/(イ)+(オ)×100			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	50.0%	50.0%	81.2%	92.8%	92.5%	92.3%	92.2%	90.8%	94.3%	94.4%	94.7%	94.6%	94.7%

○第2回基本計画評価委員会について

◇日時 3月12日（木）午後2時～

◇場所 市役所 2階 庁議室

◇内容

- ・ 第1回評価委員会意見まとめ
- ・ 市民懇談会意見報告
- ・ 収益増加、経費削減の可能性について
- ・ 基本計画に規定すべき病院像確定
- ・ その他